

1. 草加部幼稚園の教育目標

〈教育目標〉

心身共に たくましく 心豊かな子どもを育てる

〈目指す幼児像〉

- 明るく元気な子ども
- 思いやりのある子ども
- よく考える子ども

〈目指す幼稚園像〉

- 幼児が明日も行きたい幼稚園
- 保護者が明日も行かせたい幼稚園
- 職員が明日も働きたい幼稚園

2. 本年度の重点目標（課題）

〈指導の重点〉

- 身近な自然や人と関わる中で、心を動かす体験を積み重ね、豊かな心情の芽生えを培う。
- 主体的に関わることができる環境構成に努め、様々なことに興味や関心をもち、意欲的に取り組む態度を育てる。

〈具体的な取り組み〉

1. 自分が好き、みんな大好き取り組み

- ・様々な人と関わる中で、認められる喜びを感じられる援助を心掛ける。
- ・自信をもち、友達や周りの人に思いやりをもって関わられるようにする。

2. 主体的に関わることができる環境構成の工夫

- ・幼児の興味や関心に合わせ、調べたり試したり作ったり表現したくなるような環境構成を整える。
- ・教師の意図をもった環境構成の工夫

3. 身近な自然と触れる取り組み

- ・春（桜、堤防の散策、れんげ畑、いちご摘みなど）
- ・夏（田んぼでどろんこ遊び、田植え見学、夏野菜栽培、水遊びなど）
- ・秋（秋探検、芋掘り、自然物製作など）
- ・冬（雪遊び、氷作りなど）

4. 人との関わりを大切にしたい取り組み

- ・小学校との交流（日々の触れ合い、行事など）
- ・地域の人との関わり（園外保育、焼き物体験、とんど焼きなど）
- ・他園との交流会（久世こども園、久世地区園との交流）

5. 保護者や小学校との連携

6. 職員間の共通理解（幼児理解、ねらいの明確化）

3. 園評価の個別評価

評価項目	考 察	園総合評価	学校評議員 評価
教育課程・指導計画	園児数が少なく、教育環境を整える事に難しさを感じる部分があったが、久世こども園との交流会でその部分を補えることができていた。指導計画については、教育課程に基づき、園児の姿を捉えながら計画を立てることができた。	4	4
行事	自園でできる経験と交流会での経験を踏まえ、行事を計画実施することができた。各行事での成果や課題を次の行事に繋げることができるよう努めてきた。	3	4
組織・運営	職員間のコミュニケーションを積極的に図りながら、園運営が円滑にできるよう努めてきた。兼務園長であることから、常に報告連絡相談を行い、役割分担して業務を遂行してきた。	4	4
学級経営	一人一人の思いや考えをしっかりと受け止めながら、学級経営してきた。自己発揮や成長を互いに喜び合い認め合いながら生活できるように努めてきた。	4	4
特別支援教育	保護者の心配事に寄り添い、相談機関へ繋げることができた。引き続き連絡を取り合いながら、小学校へと繋げていきたい。	4	4
安全管理・保健指導	自分の命を自分で守るという意識がもてるよう指導してきた。自分で考えて行動できるように日頃からの声掛けを大切にしていきたい。	3	3
研修（資質向上）	研修会に参加し、自己研鑽に努めた。zoom 研修も増え、園内で研修を受けることができ、時間を有効活用できた。	3	4
情報提供・保護者・地域との連携	日々の活動や園児の様子などお知らせボードや通信等情報提供を丁寧に行ってきた。地域の方の協力で貴重な経験を積み重ねることができていることに感謝している。ただ保護者アンケートでは、園からの情報を確認していないことが分かり、発信方法など検討が必要だと感じた。	4	3
小学校との接続・連携	日常的に交流ができ、相互に良い関係ができている。互いの行事での関わりもスムーズに行ってきた。園での成長が小学校へ繋がるよう、丁寧に具体的な引継が必要だと感じている。	3	4
子育て支援	子育ての悩みを受け止め、園児や保護者の思いに寄り添えるよう丁寧な対応を心掛け信頼関係を築くことができた。また相談事には、早急に対応し関係機関へつなぐことができたことは、有効であった。	4	4

食育の推進（給食）	栽培活動や栄養委員の訪問等から、食育に繋げることができた。苦手な給食食材も食べようとする姿があり、量も増え成長を感じている。	3	4
-----------	--	---	---

4. 本年度の重点課題及び総合的な評価結果の考察等（学校関係者評価委員総合所見含）

- 草加部幼稚園では経験できにくいところを週2回の交流会で体験することができたことは、園児の成長になっている。困難な部分もあったと思うが継続して交流できたことに感謝している。また、草加部幼稚園でも交流でき、草加部の良さも伝わったのではないかと。
- 自己評価と保護者アンケートに差がある項目「生活習慣の定着」「情報提供」の部分は、今後更に保護者との連携を図り、改善に努めてほしい。
- 少人数集団のため“待つ”ということができにくい。それを踏まえて様々な工夫をされていることが素晴らしい。また園児のやる気を引き出す育て方ができている。
- “自分の命を守る”指導に関しても“自分で考えて行動する”ことに繋がっていると思うので、引き続き丁寧に指導してほしい。

5. 評価結果・考察（学校関係者評価委員総合評価）を受けての具体的改善方策等

- 交流会について
草加部幼稚園での生活が安心安定した状態での交流会を進めてきた。それぞれの園児にとって、成長できる交流会となるように事前事後の話し合いや職員間の連携を図りながら行ってきたことが、園児の育ちに繋がっている。地域や小学校と連携しながら、充実した交流ができるよう努めていきたい。
- 保護者との連携について
保護者と職員の思いに差がある項目特に「基本的生活習慣」については、園児の発達段階や保護者の思いをくみ取りながら、丁寧に関わっていく必要がある。具体的な援助方法を探り、取り組んでいきたい。
- 指導について
少人数の教育は、難しいところもあるが、利点と捉え取り組んできた。園児と職員の信頼関係の下に園児の主体性が育まれるよう援助してきた。園児の思いを大切に自己肯定感や意欲、自信に繋がる援助を心掛けていきたい。

学校評議員・園評価基準

評価	基準	
4	80%以上の達成度	十分達成されている
3	60%以上80%未満の達成度	概ね達成されている
2	40%以上60%未満の達成度	取り組まれているが、成果が十分でない
1	40%未満の達成度	取り組みが不十分である